

さあ冬本番。販売店様と連携し、ガス切れ防止に努めます。

12月半ばに差し掛かり、北陸の地では、街中での降雪はまだですが、最高気温が一ケタの日も珍しくなくなりました。早朝に出発する配送マンにとって、霜が降りた路面の走行や、薄暗い中での容器交換作業に油断は禁物。十分に注意して事故や作業ミスの防止を図っています。

さて、その昔、ガスの配送は、配送マンの「勘」に頼るお仕事でした。そのためガス切れが多く、お客様にご迷惑をおかけすることも度々。その後コンピューターの導入により、お客様宅の消費量のデータなど様々な情報を駆使して配送予測ができるようになったので、ガス切れは随分減りました。それでも、お客様宅の急な消費量の変化、例えば、年末年始の帰省によりご家族が増えたことによる消費量の増加などは、わが社にその情報が届かないと、いくらコンピューターでも配送予測に反映できません。ですから、今でも、



(上)ボンベ配送車 (下)バルク配送車



残念ながらガス切れを起こしてしまうことがあります。わが社ではこの「残念なガス切れ」を防ぐため、日頃より、お客様の家族人員の変化やガス器具の入れ替え、増設による消費量の増大について、販売店様との情報共有を図っており、この冬も、使いたい時に快適にガスを使って頂けるよう連携に努めます。

24時間×365日 お客様が使いたい時にガスが使えるよう安定供給を守ります。